

西丸震哉蝶の世界 2019

記憶のアルバム

会期：2019 年 4 月 27 日（土）から 10 月 28 日（月）

はじめに

西丸震哉氏は探検調査・旅行の際には護身用も兼ねて捕虫網を持参し、世界中の貴重な蝶の標本を西丸震哉記念館に残しています。

自分の採ったものだけが思い出につながる宝ものであって、それを見ているとそのときの情景が鮮明によみがえって写真のアルバムよりも強烈な効果を表すとする西丸先生から秘蔵のドイツ型標本箱（標本 B01～B12）を借用して、2009 年秋「西丸震哉蝶の世界」－記憶のアルバム－として企画展示しました。その際三角紙のまま保存してあったチョウの採集品を多数預かり、展翅作業を直接指導していただきました（下写真）。昨秋の第 8 回新秋葉山塾ではあづみのアートライン展（主催国営アルプスあづみの公園）での展示に向けて展翅作業に取り組み、その後、追加標本箱の種の同定を中心にするすめることで、2019 年度の本企画展の準備としました。



2009 年 展 翅 作 業 を 指 導 す る 西 丸 先 生 ご 夫 妻

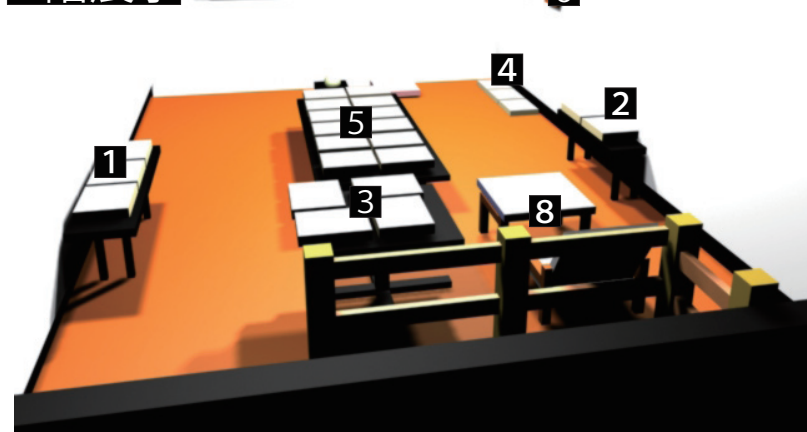
企画展展示紹介

本企画展では西丸震哉氏の記憶のアルバムとしてのチョウ標本の存在をより広く紹介するとともに新たなチョウの標本箱（N01～N05、L01～L03）を追加しました。東京大学総合研究博物館展示チョウ（鱗翅）目全 3 上科・全 7 科標本と比較することで、西丸標本の学術的意義を再確認することができました。

1 階展示 階段登口に新規 N01・N02 標本箱配置

- ① P 標本箱テーブル
- ② T 標本箱テーブル
- ③ K 標本箱テーブル
- ④ H 標本箱テーブル
- ⑤ B 標本箱群台
- ⑥ L01 標本箱
- ⑦ L02 標本箱
- ⑧ 企画展資料【ソファでコーヒーを飲みながら資料などをご覧いただけます】

2 階展示



地階展示

【あづみのアートライン展再現】

【追加チョウ標本紹介】

L03
8

13 12 11 10 9 7 6 5 4 1

3 N04, N03 2

N05

【チョウ目全 3 上科・全 7 科標本と西丸標本】

14～16 地下展示室入口の棚に採集道具など配置